

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝説)】

2012年8月号



花巻クラブジュニア→花巻北中→
不来方高の齊藤凌選手がU-19日本
代表に選出されました！おめでとう！



県中総体！花巻中男子3位☆ 見前中が新人戦に続き男女アベックV！

7月21日～23日の3日間、滝沢村総合体育館、盛岡体育館ならびに盛岡市アイスアリーナにて、平成24年度第59回岩手県中総体が開催されました。大会が教員採用試験と重なり、また最終日が平日となってしまいましたが、関係者各位のおかげで無事に終えることができました。それでは花巻勢の試合を振り返ってみましょう。

＜女子＞ 花巻北中は見前南中との初戦。センター星柚乃選手が積極的に切り込み、前半終わって10-7。後半での逆転を試みますが、ミスで波に乗れず、前半の3点差を詰めることができずにゲームセット。1・2年生のみでの県大会1勝はなりませんでした。ついに自分たちの代となる秋の新人戦での県大会初勝利に期待がかかります。



花巻中は、昨年の県中総体及び新人大会にてともに準優勝を飾った矢巾北中との初戦。テンポの良いパス回しにうまくスペースを作られ先行されますが、点差を離されずに9-7の2点ビハインドで前半を折り返します。後半、宍戸奏子選手のサイドシュート、秋山日菜子選手のミドルシュートなどでついに同点に追いつきます。しかし、ここから逆転することができず、最後はミスにより相手に得点を許してしまい、20-17で惜しくも勝利を手にすることができませんでした。結果は残念でしたが、優勝候補の一角に対し、内容では負けていないゲームができたことは大きな自信となるはず。後輩たちは3年生の思いを受け継ぎ、新人戦に向けて頑張ってもらいたいと思います。

なお、矢巾北中が大宮中に準決勝で敗れ、大宮中が昨年の新人戦優勝者である見前中と決勝で対決！前半8-6と大宮中が2点リードし、全校応援を背に受けてこのまま優勝するかに思われましたが、見前中は主将の大畑選手が決勝点を押し込み、見事逆転勝利！嬉しい県中総体初優勝を飾りました！



＜男子＞

初日第一試合に臨んだ花巻北中は、1・2年生を中心とした布陣で、盛岡地区大会準優勝の厨川中と対戦。長身ポストを擁する厨川中の大型DFをなかなか攻めきれず、なんと前半は1点のみに抑えられてしまいます。しかし後半、鎌田竜生選手、小田島丞選手(ともに花巻クラブジュニアOB)が徐々に持ち前のスピードを発揮し始め、後半は16得点。41-17という差をつけられて初戦敗退となったものの、後半の攻撃には今後の伸びが大きく期待される内容でした。

花巻中は初戦、見前南中の変則的なステップとDFにリズムを乱されます。ミスが多く落ち着かない試合運びでしたが、なんとか勝利を収め、まずはベスト8に名乗りを上げます。翌日、北陵中との対戦では、非常に個々の能力が高い相手に序盤リードを許しますが、徐々に追い上げを図ります。後半、右サイドの選手が連続して退場となり、厳しい場面を迎えます。しかしようやく花巻中らしい積極的なDFからの速攻が出始め、自分たちのリズムを作ることができました。川野誉博選手、坂下稜介選手の速攻により得点を重ね、33-21で勝利。



全国大会に出場できる東北ブロック枠はただ1つ。東北のチャンピオンを目指して頑張ってきてほしいです。また、閉会式では、懸命なトップDFから速攻で得点を重ねた川野誉博選手、全試合を通じて安定した活躍をみせた坂下稜介選手が優秀選手に選ばれました。

最終日の準決勝へ駒を進めます。盛岡アイスアリーナで迎えた準決勝は、昨年の新人大会を制した見前中との顔合わせ。菅原颯選手のミドルシュートで花巻中が先制し、戦いの火蓋が切って落とされます。花巻中はその後も中村惇平選手のロングなどで得点をあげ、18-14の4点ビハインドで前半を折り返します。後半でなんとか逆転を試みる花巻中ですが、見前中は基本的な2対2のOFに効果的にポストを使い、一気に点差を引き離します。終わってみれば、春の全国中学生大会も経験した盛岡市のチャンピオンが33-21で準決勝を制しました。

なお、見前中と厨川中による男子決勝では、前半互いに一步も引かず10-10の同点。後半に入り、スピードあふれる見前中がじわじわと点差を離し、23-16で男女アベック優勝を飾りました！男女上位2校は、8月中旬に宮城県で開催される東北大会への出場権を得ました。



陸上とハンドボールが初コラボ！炎天下のハンドも楽しいぞ！



8月5日、花巻市体育協会主催による地域総合型スポーツクラブ事業のイベントとして、ハンドボールと陸上の小学生交流会が開催されました。普段はそれぞれ小学生向けの教室などを行っていますが、市ハンドボール協会と市陸上協会が今回初めてのコラボレーション！お互いの競技を体験してみよう、ということで、会場となった日居城野陸上競技場の陸上トラック中央部に、芝生のハンドボールコートを設置！よく晴れた青空の下、ハンドボール&陸上の合同小学生教室が始まりました。

開会式の後、参加者全員でウォーミングアップ、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを行い、その後は陸上の子はハンドボールを、ハンドボールの子は走り高跳びを体験してみました。陸上クラブに集まった子たちはほとんどがハンドボール初体験でしたが、高学年では両足ジャンプでシュートを打つ子もいて、なかなか楽しんでいる様子でした。花巻クラブジュニアのメンバーも、陸上協会員の指導を受けながら、走り高跳びにチャレンジしていました。

徐々に気温が上がり、炎天下でのイベントとなりましたが、怪我人や熱中症になる子もおらず、無事に交流会を終了することができました。それぞれ競技は

違えども、走る・跳ぶ・投げるという運動の基本要素が含まれている点では共通する部分もあります。様々な

スポーツに興味を持ってもらえるよう、今後もこのようなイベントを展開していければいいなと思いました。イベントの運営にご協力いただいた指導スタッフの皆様には心から感謝したいと思います。

ちなみに、イベント終了後、花巻クラブジュニアはお昼にバーベキューを楽しみました。親御さんたちもたくさん参加して、とても楽しい時間を過ごしました。食べ終わった子どもたちは早速ハンドボールで遊び始め…

夏の暑さにも負けぬ元気が何よりです！



L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2012年8月号
2012年8月25日発行
発行:花巻市ハンドボール協会